

琉歌は沖縄本島を中心にして生まれ、八・八・八・六の基本形式を持つ抒情短歌です。音楽や舞踊と深く結びつき、現代にまで受け継がれてきました。

与那国を代表する古謡「すんかに節」も、琉歌の影響を強く受けながら、歌い継がれ、発展してきました。

琉歌や「すんかに節」が歌われてきた場や文化的背景を学び、実際に「すんかに節」のテーマに合った琉歌を作詞する講座を2回にわたって開催します。

どなたでもお気軽にご参加下さい。

2月5日(日)

午後2時～4時

第1回 スンカニの成立について

かりまた けいいち
講師：狩俣 恵一

竹富島生まれ。博士（民俗学）。

現在、沖縄国際大学名誉教授。

「どうなんすんかに」はいつ、どのようにして生まれ、発展してきたのでしょうか。琉歌や他の地域との関わりをもとに、わかりやすく解説します。作詞をする上で大切な、すんかにの主題について学びます。

2月12日(日)

午後2時～4時

第2回 思いを八・八・八・六にのせてみよう。

たがみ まさひで
講師：田頭 政英

長年、スンカニ大会の歌唱及び作詞の部の審査員を務める。現在、与那国方言辞典編集委員会委員長。

主題、語順、方言での表現方法等、実際に作詞をする上でのポイントをアドバイスします。

参加無料

会場 与那国町保健センター

お問合せ先/与那国町教育委員会（担当・村松） TEL 0980-87-2002

歌
心遊び

すんかに